あなたの使命とは何か？（9）「驚くべき神の力をいただく」

メッセージノート（2022.10.30）

エペソ 1:18-19 *[18] 心の目を開いてくださるように。そして、神の招きによってどのような希望が与えられているか、聖なる者たちの受け継ぐものがどれほど豊かな栄光に輝いているか悟らせてくださるように。[19] また、わたしたち信仰者に対して [a]絶大な [b]働きをなさる神の [c]力が、どれほど [d]大きなものであるか、悟らせてくださるように。（新共同訳）*

「心の目」：聖書では、「心」とは、単に感情や知性を司るものではなく、全人格を意味し、その人を動かしている内なる人という意味がある。

箴言 4:23 *何よりも、あなたの心を守りなさい。心は生活全体に影響を与えるからです。（LB）*

「開いて」：

- 古代ギリシャの修辞学では、興奮を表す時に使われる文法で、パウロはここで再び、信仰生活において決定的に重要な事柄について注目させようとしている。それは、「召しの希望」、「受け継ぐもの」、「力」である。
- 「心の目を開く」とは、光を与えるという意味で、聖霊の働きにより、私たちが見るべき真理を悟ることである。ここでは、現在形が使われており、この御霊は、私たちに日々必要な真理を悟らせてくださる。

「神の力」：

- 19 節：「信じる者たちに与えられる**［すべてを超越した**（ヒュペラロー）］絶大な［**「力**（デゥーナミス → ダイナマイト）］」とは、どんな力であるということを、4つの形容詞を使って説明している。
  a. 「絶大な」（メガトス） → メガ：偉大な力。
  b. 「働き」（エネルギア） → エネルギー：具体的実際に目に見える形で働く力。
  c. 「力」（カラトス）：有終の美を飾らせる力。最終的な結果を生み出す力。
  d. 「大きな」（イスクース）：人々に固有に与えられている力、隠れた潜在能力。
- 力に関する用語がこのように重複して使われている理由は、この地上で勝利の人生を生きていくために必要なあらゆる力が、確実に私たちに提供されているということである。
- これらの力が提供されている目的は、私たちに与えられている救いの道を最後まで歩み続けていけるため。
- これらの力は、20節以降にあるように、イエスを死の束縛から解放させた復活の力である。その力が、私たちに提供されているというのだ。
- この復活と天における統治という二つの概念は、聖書では常に並行して（同時に）語られている→エペソ 1:20-23, 4:8 以降。その意味は、私たちもこの地上において、罪の縄目から解放されると同時に、教会としてこの世に仕える（証する）働きがあるということだ。パッケジ・ディール！

それでは、どのようにしてこの力を受け取り、誘惑や弱さに打ち勝ち、神の国の働きに貢献するにふさわしい者とさせていただけるのか？

1.　必要な力は提供されていることを信じること

- まず、神は私たちを助けるために必要な力を用意しておられるということだ。これは非常に重要な視点。誘惑や試練に直面する時、神は今この瞬間、私が、この誘惑を乗り越えるための用意（リソース）があるということを覚える（信じる）こと。
- 4つの異なる力という言葉で、その力を概観したが、その枕詞に、邦訳されてはいないが、**「すべてを超越した（ヒュペラロー）」力**という言葉が使われている。今の問題をも乗り越える解決がある。例外はない。

2.　ポイントは、どこを見続けるか？

- 御霊は、日々私たちの心の目を開かせてくださっている。その御霊の促しや、ささやきに耳を傾け、一緒に歩調を合わせること。
- **「開く」**とは、光をあてるという意味で、現在形。すなわち、日々刻々主は、私たち心に光を持って、歩むべき道を照らしてくださっている。そこに目を留めることが大切。私たちの関心は、どこに向かっているのか？
- **希望：**主は、「召しの希望（the hope of his calling）」に、すなわち、世界の創造の前から、私を知り、特別な思いを抱き、時至ってこの世に送り、主に出会わせ、永遠の希望を心の中に入れてくださった。そして、私たちを神の価値ある働きに登用してくださった。
- **栄光：**さらに、この主との二人三脚の歩みが、永遠の遺産という人生最大にして、最高の賞賛への備えをさせていただいているということを悟らせ、しっかりとそのゴールを見据えて歩み続けられるようにさせる。

3.　一歩ずつ進む

- 飛び級はない。一歩ずつしっかりと今学ぶべき課題と取り組みつつ進むことだ。焦る必要はない。
- 神は日々様々な方法であなたに語っておられる。時間を作り、神の声に耳を傾けてみてはどうか？
- 人との比較でもない。ペテロが、ヨハネのことが気になったように、私たちも、特に日本人は、人のことを気にする傾向があるが、神との関係は、神とあなた以外誰も入り込むことのできない領域である。
- 神があなたを造り、あなたを知り尽くしておられるだから、神の前にありのまま出ればよい。神はあなたを愛しておられたので、ここに存在させ、あなたを愛の対象とされたのだ。これが、存在の第一の目的である。

  エペソ 1:5 *その愛のゆえに、神はイエス・キリストを通して、私たちを神の子供にしようとあらかじめ定めておられました。これこそ神の喜びであり、目的だったのです。（Today's English Version 訳）*

まとめ

- あなたは今、神の力を必要としているか？あなたが必要としている力を神が用意しておられると信じるか？
- あなたはいつも何を考えているか？神の用意している希望の計画について考えることはあるか？
- 今週、どこから手をつけたらよいと思うか？